

子育て支援コーナー

なかよし保育園子育て支援センター(☎96-4551・FAX22-9881)

★親子教室

- 1歳6カ月～2歳5カ月 1日(火)・8日(火)
- 2歳6カ月以上 22日(火)・29日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 3日(木)・10日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 24日(木)・31日(木)

★ツインズ・デー 18日(金)

いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要

市子育て支援センター(はまなす保育所内☎・FAX24-1260)

★あそびの広場

年齢別グループで、ふれあい遊び・工作などを行います。指導員と一緒に親子で楽しく遊びませんか。

- 0歳～1歳半 25日(金) ● 1歳半～2歳 9月1日(金)
- 2歳～2歳半 23日(木) ● 2歳半～3歳 30日(木)
- 3歳～3歳半 22日(火) ● 3歳半以上 29日(火)

いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要(受付時間は午前9時30分～9時50分)

★十周年記念子育て講演会「子どもの発達とメディア」

講師 田澤 雄作氏 とき 9月30日(土)午前10時～11時30分

ところ はまなす保育所ホール 定員 30人 費用無料

託児 20人(2歳以上) ※事前に申し込みください。

申し込み受付 8月22日(火)～9月1日(金) 電話または直接申し込み

中央児童館(☎・FAX23-7406)

★楽しい絵てがみ教室

おうちの人にてがみを書いてみよう!

12日(土) 午前10時30分～11時30分

対象 小学生のみ(自分の住所をおぼえてきてね)

もち物 えんぴつ・絵の具セット・クレヨン・50円切手1枚

費用無料、申し込みは10日(木)まで電話にて(定員30人)

★おにいさん・おねえさんと遊ぼう会(ジュニアリーダー)

6日(日)・19日(土) 午前10時30分～11時30分

対象:小学生のみ 費用無料、申し込み不要。

河北子育て支援センター(飯野川保育所内☎61-1601・FAX62-2359)

★あそびのひろば

暑い夏、いろいろな水遊びを楽しみ、暑さをのりきりましょう。

月・水・木曜日に楽しい水遊びを用意しています。遊びに来てね!!

(利用時間は午前10時～11時30分)

- 保健師による保健指導 30日(水) 午前10時15分～10時40分

「子供の心を育てる言葉がけ」

★子育てひろば 地域に出向いています

<今月の予定> (利用時間は午前10時～11時30分)

ところ 河北子育て支援センター

29日(火) 中島・中野・牧野・皿貝・馬鞍地区の方が

対象です。多くの参加をお待ちしています。

河南子育て支援センターパプラ(☎・FAX72-4670)

★わいわいサロン

(2名の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。) 農村環境改善センター2階(パプラ) 午前9時30分～11時30分

● 0・1歳親子

- 1日(火) ビニール袋であそぼう 8日(火) 絵本の読み聞かせ
- 22日(火) サロントーキング 29日(火) パネルシアター

● 2歳以上親子

- 3日(木) ビニール袋であそぼう
- 10日(木) おばあちゃんの読み聞かせ
- 24日(木) サロントーキング 31日(木) パネルシアター

親子の上靴・飲み物・着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談・・・ひとりで悩まないで!(月～金)

★サークル活動支援(月・水・金曜日)

★河南地区家庭教育学級とスクエア共催企画「子育て講座」のご案内
とき 8月6日(日)

受付午前9時30分～9時50分(10時開会・12時閉会)

ところ 遊楽館(かなんホール)

後援 青少年のための河南地区民会議

内容 講演 『親のしあわせ感とこどもの安心感』

講師 家族機能相談室 カウンセラー 小山勝己氏

申込方法 8月4日(金)までパプラにお申し込みください。

※大人対象の講座ですので、小学生のお子さんをお連れの場合は、図書コーナーや情報化研修室のパソコン(有料1時間50円)などをご利用ください。

※0歳から未就学のおさんは、吾子の会が託児室を設けますのでご利用ください。その際、親から離れられないおさんは、できるだけ家族(パパ、ママ、おばあちゃんなど)で参加していただき、託児室で安心して遊べるようご協力をお願いします。託児のおさんには、名前を書いた飲み物をご用意ください。(菓子類は持って来ないでください)

桃生地区子育て支援事業(桃生保健センター☎76-3360)

★遊びの広場

ところ 桃生保健センター 2日(水)、9日(水)、23日(水)、30日(水)

ところ 桃生文化交流会館(☎76-3418) 5日(土)、26日(土)

※いずれも午前9時30分から

★親と子の遊びの広場出前事業

ところ 檜崎分館 とき 22日(火) 午前9時30分～

★子育て電話相談 7日(月) ☎76-3360

対象者 どなたでもご相談できます。

北上地区ひまわり子育て支援

★ひまわりキッズ 午前10時～11時30分

ところ 北上保健センター(☎67-2301)

8日(火)、23日(水)、30日(水)



子育てアドバイス 8 ★★★★★

僕にも手伝わせて

石巻市立橋浦保育所長 千葉みよ子

さわやかな季節を迎え、木々の緑も鮮やかさを増してきました。この季節になると、我が橋浦保育所では恒例の草取りが始まります。毎夕、職員一同が[Gメン75]と称し一列に並び、草むしりをするのです。延長保育の園児たちも面白がって手伝ってくれます。

「Aくん、上手ねー。お家でもお手伝いしているの。」と聞くと、「しーい」とのこと。我が家も含めて、今の子どもたちはお手伝いをする機会が少なくなっています。生活様式が変わり、雨戸閉めも、水汲みもなくなりました。加えて、親は時間で仕事にいかねばなりません。子どもに頼むより、自分でさっさと片付けたほうが早いのです。

だが、さてよ。はたしてそれでいいのかな?家族の一員とし

での自覚を育てるためにも、年齢にあったお手伝いを探してあげましょう。そして、うまくできたらほめてあげましょう。違った一面に出会えるかもしれませんよ。子どもって意外と器用で、いろいろなことができるものですよ。

外遊びのときに、先生方が草取りをしていると、何人かの子どもが寄ってきて草をむしり始めます。また別の子は、かごやバケツを持って来ます。もちろん、いっぱいになれば、フェンスのほうに捨てにいけます。教えずとも状況を判断できるのです。それって、すごいことだと思いませんか。

私を含めて多くの大人は、できないことに苛立ちますが、視点を替えて、できたことを数えてみてはいかががでしょう。そして、これはとても難しいことなのですが、我慢して待つてあげてください。

お母さんの心のゆとりが、子どものやる気を育てます。

お母さん、ファイト!

表紙から

7月9日、くじらのまち鮎川で「捕鯊100年祭」が行われました。

会場のおしかホエールランドでは、捕鯊の歴史や鯨肉の食文化についてのイベントが開催され、鯨肉の焼肉やくじら汁の試食、鯨肉販売コーナーには朝早くから県内外の観光客で賑わいました。訪れた子どもたちは、広場にある鉄砲に触れながら砲手気分を味わっていました。(シュウ)

編集後記

楽しい夏まつりの季節がやってきました。今年はどこへ行こうかなあ?って迷っている今日この頃です。

さて、毎月市報を作成する傍ら、先月から「ふるさとCM大賞」の原案作りを始まりました。旧1市6町が合併して1年以上が経過し、どのようなCMを作成するかスタッフ一同、頭を悩ませている最中です。(文)

石巻の人口と世帯数

平成18年7月1日現在
()内は昨年同月比



81,911人 (-776人)



87,446世帯 (-759人)



169,357人 (-1,535人)



59,444世帯(+423世帯)

⑰ ネズミ屋敷とネコ屋敷

石巻市文化財保護委員 千葉 昌子

「むかし話」のタイトルではありません。今回は、失われていく地名の話をしましょう。『地名も文化財……?』そうです。地名も立派な文化財の一つなのです。

さて、ネズミ屋敷とネコ屋敷ですが、市内の桃生地区に「城内」という所があります。字のとおり、かつてお城があった土地です。その区域内に「ニツツミ」という小高い場所があります。現在は、道路の改修などで、ずいぶんと低くなりましたが……。

この一帯には、八幡太郎伝説があり、『昔、八幡太郎が戦でこの地を訪れたとき、背負ってきた荷物を包み直したので、このあたりを「荷包み」と呼び、少し離れた場所で、片羽の箭が落ちて、片箭(地名)となった。』というものです。

さらに、朝日さし 夕日輝く木の下に 漆万杯 黄金億々 という長者伝説によく伴う詞も残っています。この「ニツツミ」付近は、かつて古川の流路でした。



道路改修で低くなった「寝す見」

古川は、旧北上川の支流で、桃生町倉塚、永井、と流れ、櫻崎で山田方面からの山水と合流して水量を増し、城内を通り、桃生城の下を廻り、飯野川を通じて追波湾に流入していた古代の川で、流域に日高見神社と飯野山神社の式内社があります。「ニツツミ」の真下あたりは、かなりの水量が常にあり、一度雨が降れば、たちまち氾濫する地域だったので。梅雨は、田植には恵みの雨で

すが、秋の長雨や台風は、実った作物を台無しにする恐ろしい雨となります。人々は、川が氾濫しないことを祈り「寝すに見張り」をしたのです。

「ネズミ・ハリ」だから「ネズミ」なのです。後に、そこに家が建ち、ネズミ屋敷となり、ネズミでは具合が悪いので「ニツツミ」に転訛して一連のストーリーができたのでしょう。

寛永十八年(一六四一)に作成された「桃生郡中津山村御検地帳」(仙台市博物館所蔵・桃生町史第二巻登載)には「ねつみ屋敷」と書き出されています。次は「ネコ屋敷」について……。

中世の石巻地方には、たくさん城館がありました。江戸時代になってそのまま館として使われたものもありますが、多くは廃館となりました。中世館の多くは山頂にありましたが、戦のない平時には、麓の「根小屋」に居住して開田などを行っていました。

櫻崎城(桃生町)の根小屋は北上川に沿って細長く延びた地帯ですが、江戸時代の「風土記書出」には「ねこやしき」と書かれています。

今、地元では「ニゴヤ」と呼んで「荷物を入れた小屋」でもあった土地だと思っていたそうです。「ネコ」が「ニゴ」になり、「荷小屋」になったのでしょうか。

ネズミとネコは割合に多い地名ですので、すぐ近くにあるかもしれません。特にネズミは水害とかかわりがあるので、方々に見られますが、「ニツツミ」のように変身しているかもしれませんね。

地名はたくさん歴史を背負って生きてきました。ですから、やたらに変えたり消したりされては困るのです。美しい地名だけが良いとは限らないのです。名づけられた背景には歴史があるのです。どうしても変えなければならぬ時は、旧地名の標示などを施して大切に残したいものです。

健康コラム

『食』は 人を良くする



市立牡鹿病院 看護科部長 鈴木 恵美

先日、「食」の取り組みをしている小学校の児童の様子を、TVで放映していました。

朝食を食べない児童や好きな物しか食べない児童の姿。一食一食が将来の子どもの健康に大きく関わる事を、親にも子どもにも毎日の指導で理解してもらおう努力。朝ごはんを作るようになった母子の朝食風景に、笑顔と会話がありました。

朝ごはんを食べない子どもが多いの。」と……。当院でも、経口摂取困難になった高齢の方に、口から食べていただく工夫をしています。

経管栄養の方は、発語も少なく、ほとんど日中も眼を閉じています。まず、番茶ゼリーやヨーグルトなどから始めます。スプーンで口へ運ぶと、小さく開けた口が次第に大きく開けるようになります。次にミキサー食になり、食べる量が増すと、日中TVを見たり、声かけに返事をしてくれます。車イスで散歩するなど QOL(生活の質)が高まっていく姿は、『食』は人を良くする』と書く、と実感します。



石巻市立病院